

平成29年度第4回江別市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時	平成29年11月6日(水) 15時00分～16時00分
場 所	江別市民会館 3階 研修室37号
出席委員	押谷会長、内海副会長、五十嵐委員、神保委員、津嶋委員、 中井委員、八戸委員、林倉委員、樋口委員、星委員、三輪委員(11名)
欠席委員	浅川委員、和田委員(2名)
事務局	高橋生活環境部長、湯藤生活環境部次長、田中環境室長、 阿部廃棄物対策課長、中町施設管理課長、松崎施設管理課主幹、江田施設係長、 和田庶務係長、佐藤指導係長、中村減量推進係長、五十川減量推進係主査(資源化担 当)、金谷減量推進係主事(12名)
傍聴者	2名
会議次第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議事(議題) (1) 報告事項 ①「施設の方向性の比較」(案)について ②「環境クリーンセンターの方向性」パブリックコメント(案)について 4. その他 5. 閉会
配布資料	・資料1 施設の方向性の比較概要版(案) ・資料2 施設の方向性の比較(案) ・資料3 江別市環境クリーンセンターの今後の方向性について パブリックコメント資料(案)

▼会議内容

【開会】

○廃棄物対策課長

本日は全委員13人中、10人の委員のご出席をいただき、過半数を超えておりますことから、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

次に、議事に入る前に、廃棄物減量等推進審議会の公開につきましてご説明いたします。

市では、江別市情報公開条例第18条の規定により、市民の市政への参画を促進するとともに、公正で透明な市政を推進するために、審議会等は支障のない限り公開を原則としており、この審議会でも傍聴者を認めております。

また、会議の議事概要として、発言内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたしますので、ご了承いただきたいと思っております。

本日は、2人の傍聴希望者が待機しております。入場いただき、これ以降の議事を傍聴いただこうと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

○廃棄物対策課長

それでは、傍聴者の方に入室していただきます。

(傍聴者入室)

○廃棄物対策課長

それでは、ただいまより、「平成29年度第4回江別市廃棄物減量等推進審議会」を開会いたします。

はじめに、押谷会長よりご挨拶をいただき、以降、会長に議事の進行を、お願いいたします。

【議事】

○会長

皆様、改めましてこんにちは。お陰さまで根雪になる前に、だいが審議は進んでおりまして、今日もパブリックコメントの案を出されているとのことですので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

早速でございますけれども、今日の審議会をこれから開催して参ります。

本日、ご用意いただいている事項は議事次第にございますように、2件の報告事項でございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、1件目に入りますが、『「施設の方向性の比較（案）」について』ということで、事務局よりお願いいたします。

(1) 報告事項

①「施設の方向性の比較」（案）について

○施設管理課長

施設管理課の中町です。私から、「施設の方向性の比較（案）について」、ご説明いたします。

10月11日開催の当審議会に報告いたしました、「施設の方向性の比較（素案）について」各委員から頂いた意見を踏まえ、資料1の「施設の方向性の比較（素案）概要版」と資料2の「施設の方向性の比較（素案）」の修正を行い（案）として作成いたしました。

資料1、資料2の全体的な修正は、文末の文章様式を堅い印象を受ける「である調」の常体から、やわらかい印象を受ける「です・ます調」の敬体にし、各表、図の表題を表記いたしました。なお、文章様式以外の修正箇所については、下線で示しております。

資料1の1ページをご覧ください。

1については、資料2の本編と同様に「環境クリーンセンターの今後の方向性」の内容としております。

次に、2の「検討対象経費」ですが、「廃棄物処理ライフサイクルコスト」算出例に基づく「検討対象経費」に含めないものについて、判りやすい表現で①から④で標記いたしました。

①、廃棄物処理ライフサイクルコストは、将来的に廃棄物処理施設に必要となるコスト（工事費・補修費）を算出するものであることから、過去に要した建設費、運転費用などのコストは検討対象経費に含めないということです。

②、施設の解体費は、「廃棄物処理の役割を退いた施設」に必要な経費であり検討対象期間中の廃棄物処理のために投じられる費用ではないこと、解体は共用停止直後に行われるとは限らず、検討対象期間以降に行われることもあることから、検討対象経費に含めないということです。

③、人件費や用役費などの運転管理経費は、施設の規模によって差が出るものであり、本件は、ほぼ同規模の施設の比較であることから、検討対象経費に含めないということです。

④、施設の建替えの用地費についても現段階で想定することが困難であることから、検討対象経費には含めないということです。

以上、資料2も同様に修正を行っております。

次に、2ページの3では、廃棄物ライフサイクルコスト算出に必要な、検討対象期間終了時点での各方向性の施設の残存価値について説明を入れております。

次に、3ページの4では、下から2行目の下線部分ですが、修正前は、処理経費となっておりましたが、将来的に廃棄物処理施設に必要なコストに修正しております。

次に、参考資料1の表1、2のフロー図では、主な延命化工事（案）を示しておりますが、あくまでも現状想定されている工事であることから、資料2も同様に下段に、実際にする延命化工事として確定した内容ではないことを追記しております。

以上が、資料1の修正箇所となります。

続きまして、資料2の2ページをご覧ください。

3の「検討対象経費」については、資料1と同様に「検討対象経費」に含めないものについて、判りやすい表現で①から④で標記しております。

次に、3ページの4の中段には、①将来の経費の現在価値化、②残存価値の控除に係る取り扱いについて、説明を追加しております。

次に、参考資料1の表1主な延命化工事（案）内容一覧に各項目の概算工事費を追記しております。

以上が、資料2の修正箇所となります。

説明は以上であります。

#### ○会長

ありがとうございました。それでは、今のご説明について、何かご質問、ご意見等はございますか。

前回、ご指摘いただいた部分の修正を加えていただいたことと、文言が「で・ある」調から「です・ます」調に変更して、わかりやすい表現になっているということですが、いかがでしょうか。

よろしければ、また後ほど、見ていただくことになろうかと思っておりますので、進めさせていただいてよろしゅうございますか。

(各委員了承)

#### ○会長

それでは、続いて報告事項②に移らせていただきます。2件目、『「環境クリーンセンターの今後の方向性」パブリックコメント（案）について』をご説明お願いいたします。

#### (1) 報告事項

##### ②「環境クリーンセンターの方向性」パブリックコメント（案）について

#### ○施設管理課長

次に、「施設の方向性のパブリックコメント（案）について」ご説明いたします。

パブリックコメント（案）につきましては、施設の方向性の比較（案）に基づいて作成しております。

資料3の1ページをご覧ください。

1のはじめには、施設の現状と課題、施設の概要、現状の設備機器の状態、廃棄物処理施設の耐用年数を記載し、2の施設の今後の方向性についての検討では、比較検討を行う「施設の延命化」、「施設の建替え」について記載しております。

次に、2ページをご覧ください。

3の(1)施設の方向性の比較方法では、表1、図1で比較検討に係る内容を示し、施設の方向性の比較方法として、環境省のマニュアルである「廃棄物処理ライフサイクルコスト」算出例に基づいて行ったことを記載しております。

次に、3ページをご覧ください。

(2)の比較結果では、図2で比較結果を棒グラフで示し、比較内容、施設の現状の状態から、江別市において今後も適正にごみ処理するためには、現在の施設を平成34年から平成48年までの15年間延命化することが、経済性、効率性の観点からも妥当であると判断したことを記載しております。

次に、4のスケジュールでは、(1)に現在まで、(2)に今後の予定のスケジュールを記載しております。

次に、5ページをご覧ください。

5の延命化工事概要では、主な延命化工事(案)内容一覧を示しております。

次の資料1では、施設の延命化(案)フロー図となっております。

以上が、パブリックコメント資料(案)であります。

パブリックコメントの募集期間は、12月7日から1月11日、12月広報、市のホームページで募集要領を掲載し、ホームページ及び市役所本庁舎1階情報公開コーナーを含め11カ所の窓口で資料を公表する予定をしております。

説明は以上であります。

#### ○会長

どうもありがとうございました。

今、ご説明いただきましたパブリックコメント(案)ですが、この減量等推進審議会は今年の8月から今日を合わせまして、3回のご意見をいただいているところでございますので、そのことも含めて記載されているということであろうかと思えます。

12月から1月にかけて、年末年始のお忙しいところではあると思えますけれども、この時期にパブリックコメントを行うということですが、いかがでしょうか。

#### ○中井委員

資料3、パブリックコメントの4ページですが、前に主な延命工事の、それぞれ何に掛かるのかというのを聞いて、資料2の比較では、主な設備項目ごとにこれだけの事業費がかかりますという金額を入れていただいています。

市民の関心事としてどこに金が掛かるというものも、重大な関心事だと思うのですよ。私としては、ここで主な延命工事の内容一覧に工事費を入れていただいた方が、適当でないかと思えますが、その点、ご検討いただきたいと思えます。

#### ○会長

基本的には、先ほど資料でご説明されていたように、現時点の試算でございますけれども、事務局の方、何かそのことについてございますでしょうか。

#### ○施設管理課長

今の中井委員のご質問ですけれども、意見として、資料3の4ページに関しましては、比較の案と同様に金額を掲載したいと考えております。以上です。

#### ○会長

それでは、計画のところに現在の試算と言う事で記入した上で、金額をご記載いただくということで、中井委員それでよろしゅうございますか。

#### ○中井委員

はい。

○林倉委員

若干関連するのですが、パブリックコメントというのはこの資料3、パブリックコメント資料（案）のみしか出ないのでしょうか。それとも、資料2が添付資料として出るのでしょうか。

資料3のみですと、同じような質問が出てくるのかと思いますけど、どういう形でパブリックコメントに資料提示されるのか、お示しいただきたいと思います。

○会長

事務局の方、お願いいたします。

○施設管理課長

パブリックコメントに関しては、この資料3だけという形でホームページにも掲載するような予定をしております。

○会長

林倉委員。具体的にどこかの箇所が、記載された方が良いというご意見はございますか。

○林倉委員

前回の会で話題になっていることは、いろいろ直していただいたり、分かりやすくしていただいたりしているのですが、それが資料3に反映されず、同じ様に「ここがどうなっているのか」という疑問を思われる方は、このパブリックコメントの資料では、ちょっともやもやした気になるのかなと思ったのですから。パブリックコメント自体がこういう資料でいくのかどうなのか、ちょっと引かかるかなと思います。

○五十嵐委員

林倉委員のご意見と重複するところもありますけれども、実際、市民としてこのパブリックコメントの資料（案）をホームページに出されて、意見を出してくれと言っても、中井委員の仰った4ページの部分に、それぞれどの部分の経費がいくらぐらい掛かりますよっていうのを記載するのは、もちろんだとは思いますが、一体全体いくら掛かるの、単純にいくら掛かるの、っていうのがあんまり見えてこないと思うんですよ。読めばわかる、読み込んでいけば。

ただ、パブリックコメントってというのは市民に、これを読み込んで意見を出させるものなのか、ある程度わかりやすく噛み砕いたものを出して「こんなふうに考えてますけど、どうでしょう」というものなのか、どっちの考えなのか、これ以上見えてこない。

我々のいただいている「施設の方向性の比較（案）」ですとか、今日いただいた資料の1ですとか2、また、前回の資料では、延命化した時の工事費はこれくらいで、建替えの時はこのくらい、っていうのが表になって分かりやすく出ている。

こういうものがあつた方が「実際これくらい掛かるんだ」、そして、中井委員の仰った4ページの部分で、「延命化する時に局地的な部分でこれくらい掛かるんだな」、「合算したらだいたいこれくらい」、「こういうことなんだ」という様に分かりやすくなる。

金額だけで、パブリックコメントを求めるものではないと思うのですが、この資料だけだと、金額の面もそうですし、林倉委員の仰った部分もそうですけれども、パブリックコメントは、市民の方から疑問を出してもらって、それに答えるっていうものではないんですね、性格的には。

なので、これだと「いったいいくら掛かるの、建替えたらいくら、延命化したらいくら、ここはどうなの、ここはいくら、こういう時はどうなの」という疑問がちょっと多く出過ぎてしまうのではないかなという感じがするので、もう少しちょっと具体的な部分ですとか、分かりやすくした方が良くないかなという感じがします。

## ○津嶋委員

今の五十嵐委員のお話のとおりだとは思いますが、はたして市は、積算の予算というのは立てられるのでしょうか。それと、この際に積算基準となるのは、国交省なのか厚労省なのかで金額が変わると思うのですよね。

現状でできるのは、それに機械設備云々というのがあって、機械設備に関しては積算単価というよりは、徴収見積りしかないはずなのですが、その際の徴収見積りもまた予算が必要になる部分なので、そういった予算計上というのは既になされているのか、今後行うのかというのは、ひとつ、重い部分だと思います。

次に、「延命化」という話の中で進んでいますけれども、なんとなく「長寿命化」の方が、今の行政の言葉遣いとしては一般的じゃないか、そちらの方が適当ではないかと思いますので、意見として、申し述べさせていただきます。

もうひとつは、先ほどの「じゃあこれでいくらかかるんだ」というお話をしている際に、こういった見積計上というのが必要になった場合、1ヶ月、2ヶ月じゃ済まないと思うのですよね。

そうすると、今年度の金額計上というのは、かなり難しいものになろうかと思えます。予算化して、発注して、受注者が金額を積算する。受託者はそれからスタートなので、早くても来年の3月ぐらいにしかならないと思うのですよね。技術者が不足している現状で、はたして本審議会の中で可能なかどうか。

ということの見通しは立てた上でご回答しないと、審議会の諸兄諸姉には分かりにくくなるのではないのでしょうか。商工会議所からの人間として、一言申し伝えておきたいなというふうに思っています。

(八戸委員途中入室)

## ○会長

今、津嶋委員から3点のご意見がありましたけれども、1点目は「積算のあり方について」ということ。

それから、2点目は「延命化」という表現ではなくて、「長寿命化」の方がよろしいのではないかとということですよ。

それで、3点目ですが、事務局からご説明いただいた方がよろしいかと思えますが、今後の予定が平成31年度に循環型社会形成推進地域計画を策定するということになっております。

そういうスケジュールを考えると、今、ご指摘のような超スピードでやるということでは、ないのでないかという思いがあるものですから、事務局の方からご説明を3点についていただけますでしょうか。

## ○施設管理課長

資料3の3ページには、今後の予定という形で記載しておりますけれども、津嶋委員から言われました施設の「延命化」ということに関しましては、一般的には「長寿命化計画」という形のものであります。

施設の長寿命化、延命化工事に係るものに関しては、国の補助金交付申請が必要となりますので、これらに対しては平成31年度に予算化し、外部に委託しまして循環型社会形成地域計画を策定、32年度に長寿命化計画の策定という形で行います。

それに合わせて、施設の延命化工事の詳細設計についても策定しなければいけませんので、その関係についても予算化し、外部委託をして作成する予定としております。以上です。

○会長

今、3点目から入っているのですけれども、スケジュールについては、平成31年度に、全額現金で建設できるわけでは当然ございませんので、起債等もあろうかと思えますけれども補助金申請があるということです。

それで、平成32年度には、詳細設計を含めた総合計画が立てられるということなのですが、その間に置いて、私どもは今回、答申をするということではないので、本審議会が何か諮問を受けて、それを回答したものを持って、市が方向性を決定するということではないと思えますけれども、本審議会でも当然その間にご説明はいただけるということで、理解していてよろしいでしょうか。

○施設管理課長

はい。

○会長

ということで、今の津嶋委員のご質問については、平成30年度いっぱいをかけて、十分な検討を加えたうえで、予算の積算を立てているということになるかと思えますので、よろしいでしょうか。

津嶋委員何か、よろしいでしょうか。

○津嶋委員

特段に、再質問はございません。

○会長

それと、もう一点残されている問題として、積算については1点目と3点目のお答えのとおりだと思いますが、2点目の「長寿命化」について、今、中町施設管理課長から「長寿命化」という言葉が出てきたのですけれども、この文言についてはどうお考えでしょうか。

○施設管理課長

施設の「延命化」という形で資料を作成しているのですけれども、施設の長寿命化計画というものは環境省から出されているものでありまして、わかりやすいような言葉として「延命化」に一度、直したような経過がありますので、一般的には長寿命化計画というような形になっております。以上です。

○神保委員

すいません。単純な計算でいきますと、34年11月末で処理施設の耐用年数20年が経過してということなんですけれども、もし延命化しましたところ、37年に終了ってことですよ。単純に引算して、3年ほど耐用年数が過ぎたものを、使用してよろしいんですかって思ったんです。

○会長

少々お待ちください。先ほどの「長寿命化」と「延命化」については、どこか枕書きのところで一言加えていただければと思います。

それでは、今のご質問について、お答えいただけますでしょうか。

○施設管理課長

資料3の3ページの今後の予定に記載しております、平成34年度施設の延命化工事施行とい

うことで、4年間で平成37年度までに延命化工事を行いまして、平成34年度から平成48年度まで、15年間、施設を延命化する形となっております。

○会長

基本的には問題なく、その間に全面停止するわけではないので、工事をしながら運転が行われているということでしょうか。

○施設管理課長

この4年間の延命化工事に関しては、2つの炉がありまして交互に行うような形を取っております。それと、2つに係る共通の設備に関しましては、現在も6、7月に2つの炉を止めまして、整備を行っている状況となっております、問題はないという形になります。以上です。

○会長

よろしいでしょうか。全く止まるわけではなくて、2炉ある中の1炉を交互に使いながら、いくということ。それから、両方の共有しているものについては、今も全面停止する場合もあるということに対応できるという答えですけれども、よろしゅうございますか。

○神保委員

わかりました。

○会長

他にございますでしょうか。

それではもう一度見直していただいて、今の言葉であるとか、もし、修正が必要な部分については会長、副会長にお任せいただくということで、よろしゅうございましょうか。

(各委員了承)

○会長

それではですね、先ほどご説明ありましたとおり、12月9日にパブリックコメントが行われるということです。事務局から何か、補足でご説明いただけますでしょうか。

○環境室長

先ほど、委員からパブコメの資料について、事務局の方では資料3ということで渡していただきましたけれども、それではちょっと説明不足ではないかというようなご意見がございました。

事務局としては、市民に解りやすい資料ということで資料3を考えていたのですが、委員のご指摘もございますので、資料2の本編、こちらをパブリックコメントの参考資料として、提出する方向で検討したいと考えております。以上です。

○会長

ありがとうございました。

今の件は、資料2、詳しい方を添付されるということで、それを縦覧できるような形で、整えていただけるということですので、委員の方々からご指摘があったことについては、そのような方向で参るということでご了解いただきました。

○林倉委員

ひとつよろしいでしょうか。



○会長

林倉委員。

○林倉委員

経費比較がこれで分かりやすくなると思うのですが、全て基本的にメーカーさんだと、類似で他市町村の事から、金額っていうのはある程度算出されていると思うのですが、建替えの場合はそれで致し方ないと思います。場所が決まらなければ、大きく変わってくると思いますので、大枠の中でのみ、この費用を示していることは仕方ないと思います。先ほども出ました、施設延命化に関しては、比較的、「どういうもので、どれくらいかかる」というのが、具体的に資料2の中に出されております。

ただ、一番下に「実際に実施する延命化工事として確定した内容ではありません」という但し書きはありますけれども、延命化の場合は、実際、延命化をする設備がもう限定されていますから、これについてはメーカーヒアリングがどのレベルぐらいまで進んでいるのかなど。

実際、類似施設では「こういうもので、こういうところで、このぐらいの経費が掛かります」という段階で、立替えと同じようなレベルでの数字をここにお示しいただいたのか、江別の環境クリーンセンターというものをかなり限定した形で、現状をかなり反映されている中で挙がってきている数字なのか、差し支えない範囲でお答えいただければと思います。

○会長

ありがとうございます。今の件について、いかがでしょうか。

○施設管理課長

今の林倉委員からのご質問ですけれども、資料2の参考資料1に記載しております、概算の工事費についてはメーカーともいろいろ協議いたしまして、今現在、施設に係る設備に関して20年が経過するという事で、20年が経過しますと主要な設備の部品供給も無くなっていくということから、おおまかな施設に関しての、例えば、一番上にありますケース1の計装設備、運転制御装置。これは運転に関する制御システムになりますけれども、この部品に関しては20年も経過すると部品供給ができないということで、メーカーから積算した江別だけの独自のものになります。以上です。

○林倉委員

わかりました。ありがとうございます。

○会長

よろしいですか。ありがとうございました。それでは、もう少し時間をいただければと思います。

パブリックコメントについては、補足資料も出てくるということになりましたけれども、これは先ほどお話がありました、11カ所でパブリックコメントの縦覧をしていただいて、ホームページには掲載されないということですか。

○施設管理課長

ホームページにも掲載されます。

○会長

ホームページにもこの資料が掲載されるということです。よろしいでしょうか。

それから、江別の広報誌にもパブリックコメント実施ということについては、広報されるとい

うことで、よろしいでしょうか。

○施設管理課長

はい。

○会長

ということですので、よろしく願いいたします。

今日は11月6日でございますので、先ほどご了解いただいたとおり、文言等で修正がある場合には、副会長と私の方で拝見させていただいて、了承させていただきたいというように考えております。

それでは、予定どおり12月9日からパブリックコメントを実施するということでございますので、よろしく願いしたいと思います。

以上で、よろしゅうございましょうか。

(各委員了承)

○会長

それでは、本日予定しております議題については以上でございます。事務局の方、何かその他でございますでしょうか。

○廃棄物対策課長

ありません。

○会長

先ほどのスケジュールにございますように、パブリックコメントがあがってきた段階で、もう一度この審議会を開かせていただいて、どういうご意見があったのかと拝承させていただくこととなります。

皆さんもぜひ周りの方に声をかけていただいて、見ていただいて、多くのパブリックコメントが寄せられるようお願いしたいと思います。副会長、以上でよろしゅうございましょうか。

○副会長

はい。

○会長

それでは、本日予定しておりました報告事項、全て終わりましたので、これで終了させていただきたいと思います。どうもご協力ありがとうございました。

#### 【閉会】

○廃棄物対策課長

本日はご多用な中、ご出席いただき、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして第4回江別市廃棄物減量等推進審議会を閉会いたします。

次回、審議会につきましては、来年2月頃を予定しております。

詳細につきましては、後日、ご案内いたしますので、よろしく願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。